

2024.3.15
(uploaded 2024.3.16)

春の人へ

Words by Keiichiro Kodama
& San Motegi
Music by Keiichiro Kodama
Performed by HUSHBYRD
3-100

人々は様々な気持ちで新たな季節の到来を待っている。これまで自分を育ててくれた人や場所への思いを、どうやって時の彼方に消さないで春を迎えたら良いのか。まだ雪の下に眠る故郷に募る思いを抱きながら、心に訪れる春を待つ人への歌。

People are waiting for the arrival of the new season with various feelings. How can I welcome spring without letting time erase my feelings for the people and places that have raised me? This is a song for those who wait for spring to arrive in their hearts while harboring longings for their hometown, which still lies beneath the snow.

春のひかり呼ぶ人が
季節のとびらを開けてゆく
わたしもう感じているの
ささやく水の流れ

真白き雪の下 眠れる思い出
聞こえるその声 ねえ もう一度
春のかがやき 取り戻してと
わたし走る とびらの向こうへ

空いっぱいにあふれる光
春を呼ぶ人を追いかけて
ちいさな蕾のふるさとの桜並木は
時のトンネル

あの瞬間に止まったメモリー
やさしい笑顔に会いたい

遙かわたしが生まれる前から
この空この海を愛して
いのち紡いできた人の
忘れられない想い

空いっぱいにあふれる光
春を呼ぶ人がとびらを開けた
ピンクの蕾のふるさとの桜並木に
みんな集まろう

過去と今が行き交うトンネル
心やすらぐ春のちから

春のひかり 感じたら
雪割り やわらかな空を

見上げ 生きる喜びを
確かめよう もう一度

当サイトの内容、テキスト、画像、楽曲等の無断転載・無断使用を固く禁じます

Unauthorized copying and replication of the contents of this site, text ,music and images
are strictly prohibited.